

令和 4 年 7 月 15 日

浜田市議会議長

笠田 貞 様

議員名 中尾 昭

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 4 年 7 月 14 日 (木) : ~ :
2. 研修内容
U-カレッジ 227 号にて地域から学ぶ研修を受ける。
3. 研修先
227 号 大覚堂研修会
4. 調査経費 5220 円
(経費内訳 5000 円、220 円)
5. 調査研究活動の概要
別紙にて



研修目的—「ローカルマニフェストで地域から日本を変える
マニフェスト大賞2022キックオフ研修会」

研修先、早稲田大学マニフェスト研究所。

期日、7月14日—オンライン。

基調講演・北川正恭氏

「マニフェスト20年～ローカルマニフェストで地域から
日本を変える」

実践発表

久坂くにえ氏 {出産議員ネットワーク・子育て議員連盟}

「出産・子育てが政治参画の障壁とならない、議会の法規・
環境整備の取り組み」

岩崎広宣 {取手市議会事務局次長}

「ICT/AI・住民・議会による新しい民主主義を推進」

戸塚正人氏 {町田市議会議長}

「{議案のカルテ} はインターネット上の議会報告会—議案
ごとにカルテを制作・公開」

壬生照玄氏 (長野県高森町)

「住民との約束をチェックする—町長マニフェストの評

価・検証一」

黒川勝氏（横浜市議会議員、よこはま自民党）

「マニフェストを起点とした新たな市民との政策形成」、、、、

高橋英昭氏（横須賀市議会議員、よこすか未来会議）

「会派マニフェストと政策形成のP D C Aサイクル推進」

林敏宏氏（岡山市議会議員、公明党岡山市議団）

「会派マニフェストの作成意義と効果について」

新田洋太郎氏（日本青年会議所ベビーファースト委員会）

「公開討論会の拡がりとしティズンシップ推進～取り組み
の成果と展望～」

総括・北川正恭氏

考察、

子育て議員連盟・出産議員ネットワークの久坂議員による、
全国の議員ネットワークが、東になり、総務省や各議長会に
掛け合い、欠席予定事由を、介護や育児などを勝ち取った経
験談は痛快であった。地方議会においても、議会運営全般に
ついて、改革機会を絶えず検討する必要性を感じた。オンラ
インであったが、各事例報告を聞いて違和感を感じて挙手を

した。先年、議会改革のトップを連続記録していた、芽室町を訪問して旧知の局長の説明を受けたおり、余りにも議会事務局の負担が多すぎるのではと質問すると、相手町の議長が声を荒げた。今回も、優れた事例報告があったが、事務局に負うところが多く、それでは真の議会改革にならないのではと指摘した。答えは、歯切れが悪かった。ランキング上位を焦るあまり、事務局に負荷をかけるなど、本末転倒である。浜田市議会においても肝に銘じておくべきと感じた。

以上、報告致します。

牛尾昭